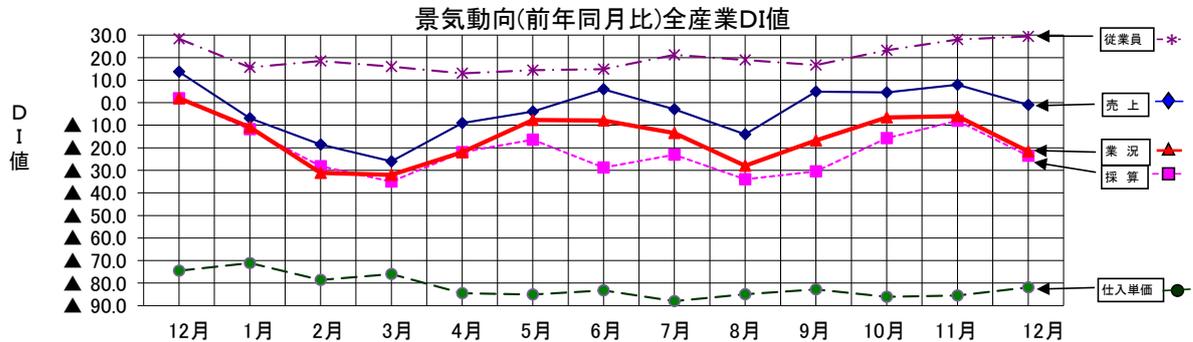


# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 12月分

## 【12月の概要】

「売上」「採算」「業況」が前月より悪化  
物価高、円安など引き続き困難な状況が続く

業況判断を示すDI値は、「売上」「採算」「業況」ともに前月よりも悪化し、「採算」と「業況」では15ポイント以上の大幅な悪化となった。「売上」も9ポイント悪化し、再びマイナス水準に転じた。先行きDIも同様で、「従業員」以外全てがマイナス水準で推移している。寄せられたコメントでは、依然として、燃料費の高騰、物価高、円安に加え、新型コロナ第8波の影響も深刻で、人流停滞や稼働率低下など、年末に向けて危機感が読みとれる。また、多方面の値上げラッシュで消費の冷え込みも懸念されることである。引き続き困難な状況が続くものと思われ、慎重な経営判断が求められる。



## 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2021年 12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	2022年 12月
売上	13.7	▲ 6.9	▲ 18.5	▲ 26.0	▲ 9.0	▲ 3.9	5.9	▲ 2.9	▲ 14.0	4.9	4.6	8.0	▲ 1.0
採算	2.0	▲ 11.8	▲ 28.2	▲ 35.0	▲ 22.0	▲ 16.4	▲ 28.7	▲ 23.1	▲ 34.0	▲ 30.4	▲ 15.7	▲ 8.0	▲ 23.5
業況	2.0	▲ 10.8	▲ 31.1	▲ 32.0	▲ 22.0	▲ 7.7	▲ 7.9	▲ 13.5	▲ 28.0	▲ 16.7	▲ 6.5	▲ 6.0	▲ 21.6
仕入単価	▲ 74.5	▲ 71.1	▲ 78.6	▲ 76.0	▲ 84.5	▲ 85.1	▲ 83.2	▲ 88.0	▲ 85.0	▲ 82.8	▲ 86.1	▲ 85.5	▲ 81.9
従業員	28.4	15.7	18.5	16.0	13.0	14.4	14.9	21.2	19.0	16.7	23.2	28.0	29.4

- ・プラス幅が増加したDI値：従業員1.4ポイント（人手不足局面へ）
- ・マイナス幅が減少したDI値：仕入単価3.6ポイント
- ・プラスからマイナスに転じたDI値：売上▲9.0ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：採算▲15.5ポイント、業況▲15.6ポイント

## 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
10月	4.6	▲ 13.0	▲ 7.4	▲ 65.7	22.2
11月	▲ 3.0	▲ 17.0	▲ 6.0	▲ 56.0	32.0
12月	▲ 11.8	▲ 28.4	▲ 24.5	▲ 57.8	33.3

- ・見通しが悪化したDI値：売上▲8.8ポイント、採算▲11.4ポイント、業況▲18.5ポイント、仕入単価▲1.8ポイント、従業員1.3ポイント（人手不足局面へ）

## 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	管工事	値上げによって顧客からの信頼を失った事例が発生。何十年もの年月をかけて築いた信頼関係も瞬時に失われる。
	ガス設備	受注に明るい兆しもあるも対応できる人員不足で仕事を断る状況に。求人を出しても応募が無く厳しい状況。
製造業	印刷	機械設備の動力費が高騰し、より大きな負担になっている。
	製菓	新型コロナウイルス第8波により、休業者と濃厚接触者が増え工場の稼働率が低下している。
卸売業	食品	値上げ対応が進むにつれ、消費者は生活防衛に入ってきているようだ。
	青果	年末の需要期を迎え書き入れ時だが、電気料金をはじめ物価上昇により、消費者の購買意欲鈍化が懸念される。
小売業	印鑑・印刷	ウクライナ問題・コロナ・円安と難しい状況だが、受注を先取りすべく活動している。
サービス業	レストラン	仕入価格上昇、エネルギー高、人件費の上昇、人手不足加速と、販売価格を見直しても追いつかない現状。
	タクシー	コロナ第8波の影響が出ている。12月も悪い方向に進んでいる。このままの状態では存続も危ぶまれる。
	福祉施設	コロナ感染が職員にも増え人手不足。募集はしているものの応募なく、来年に期待したい。